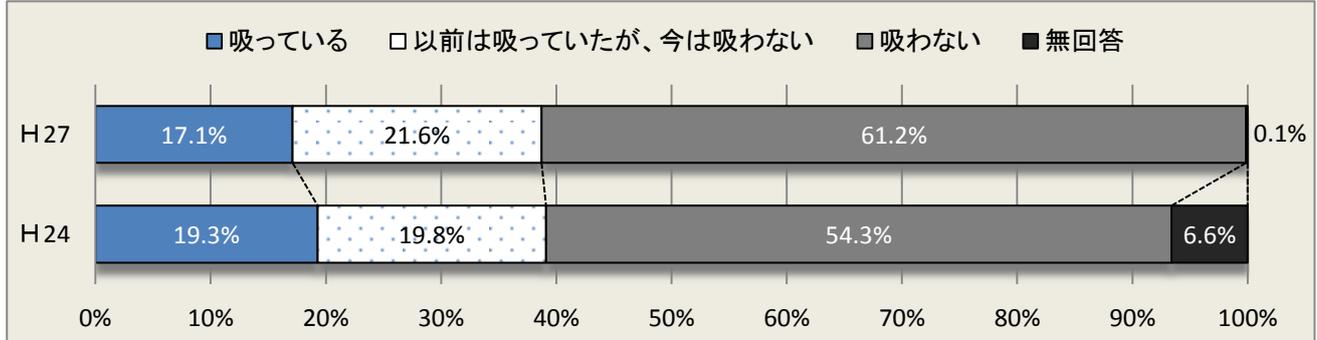


④タバコについて

(22) 現在、タバコを吸いますか。

※「吸っている」(17.1%)が若干の減少。「以前は吸っていたが、今は吸わない」(21.6%)と「吸わない」(61.2%)をあわせ8割強の方がタバコを吸っていない。吸わない方の割合が増えてきている。

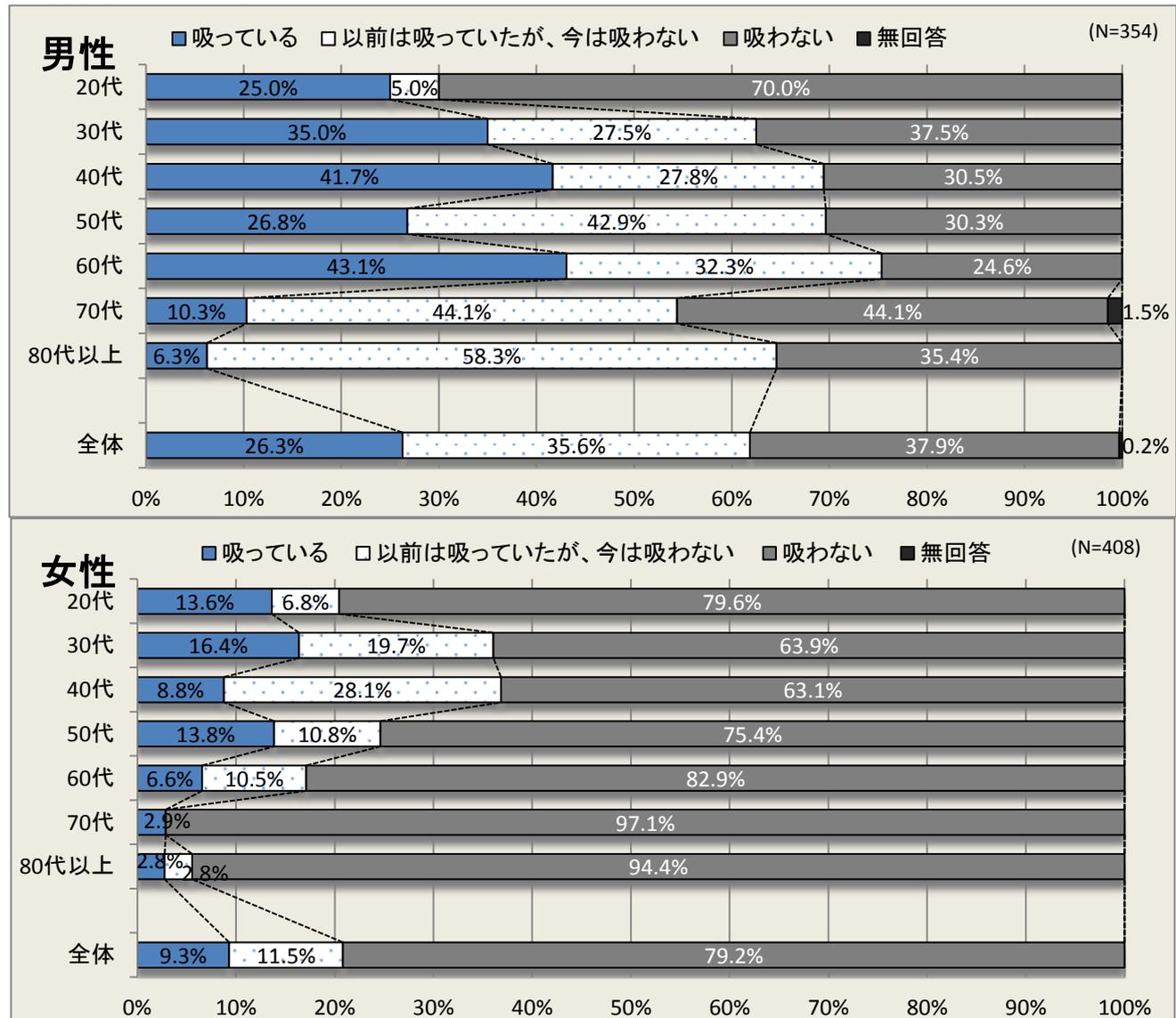
○平成24・27年度比較



※男性の喫煙率は、40代と60代が4割強と最も多く、少ないのが70代と80代以上の1割程度になっている。

女性の喫煙率は、30代が最も多く男性に比べ3割ほどと低くなっているが、妊娠、出産、子育て世代の割合が多くなっている。

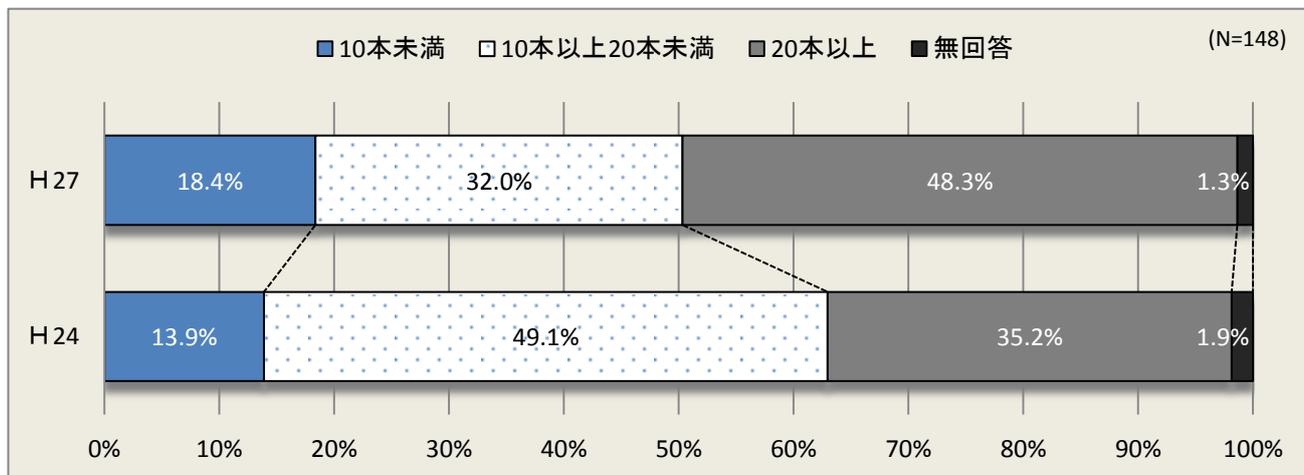
○年齢・性別による集計



(23) (22)で「1. 吸っている」とお答えした方にお聞きします。1日の平均本数はどのくらいですか。

※「20本以上」(48.3%)が、H24調査より大幅に増加。
喫煙者の1日の平均本数は増加傾向にある。

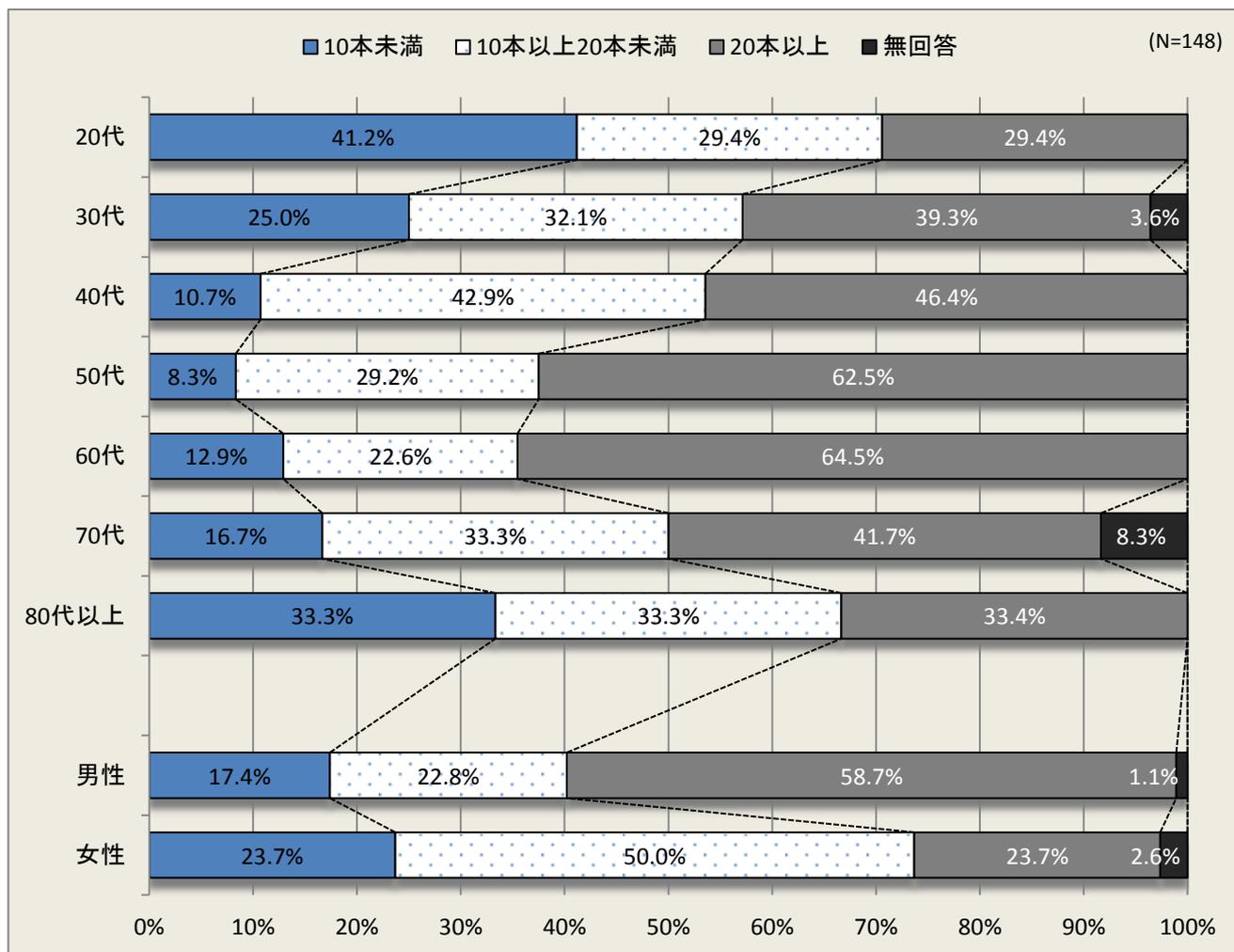
○平成24・27年度比較



※「10本未満」は20代と80代以上に多く、「10本以上20本未満」は全年代で3割前後である。「20本以上」については、50代、60代が6割強、他の年代は3割前後で、全体的に喫煙本数が多い。

男女別では、男性の過半数が「20本以上」、女性の半数が「10本以上20本未満」となっており、男性の方が圧倒的に喫煙本数が多い。

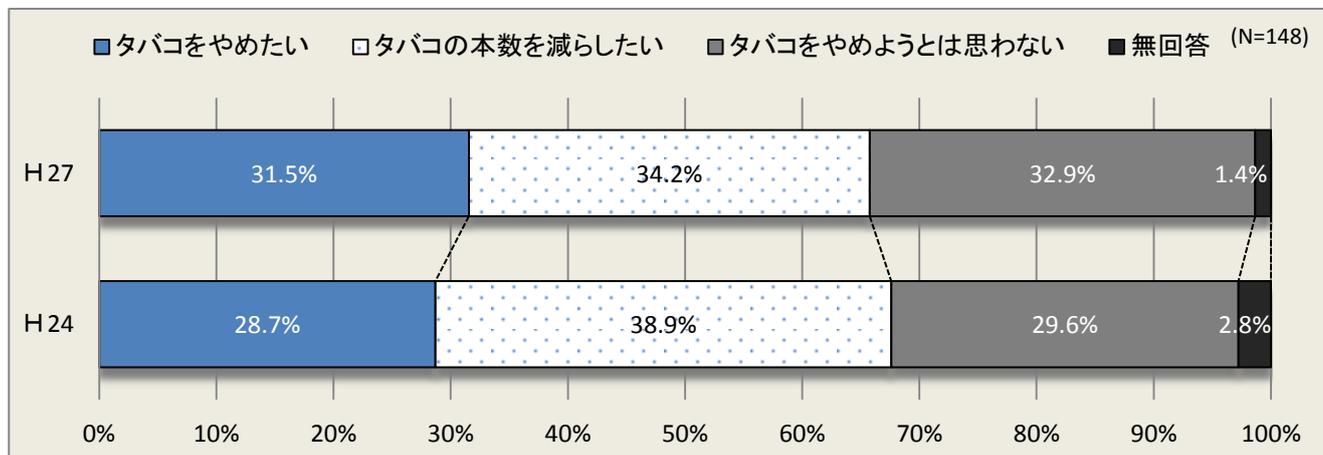
○年齢・性別による集計



(24)(22)で「1. 吸っている」とお答えした方にお聞きします。今後の喫煙に対してどのように考えていますか。

※「タバコをやめたい」(31.5%)が若干の増加。「タバコの本数を減らしたい」(34.2%)と「タバコをやめようとは思わない」(32.9%)とあわせて7割弱の方が禁煙を考えていない。H24調査と比較して、若干「タバコをやめたい」が増加しているものの、「タバコをやめようとは思わない」も増加していることから禁煙に対する傾向は大きくは変わっていない。

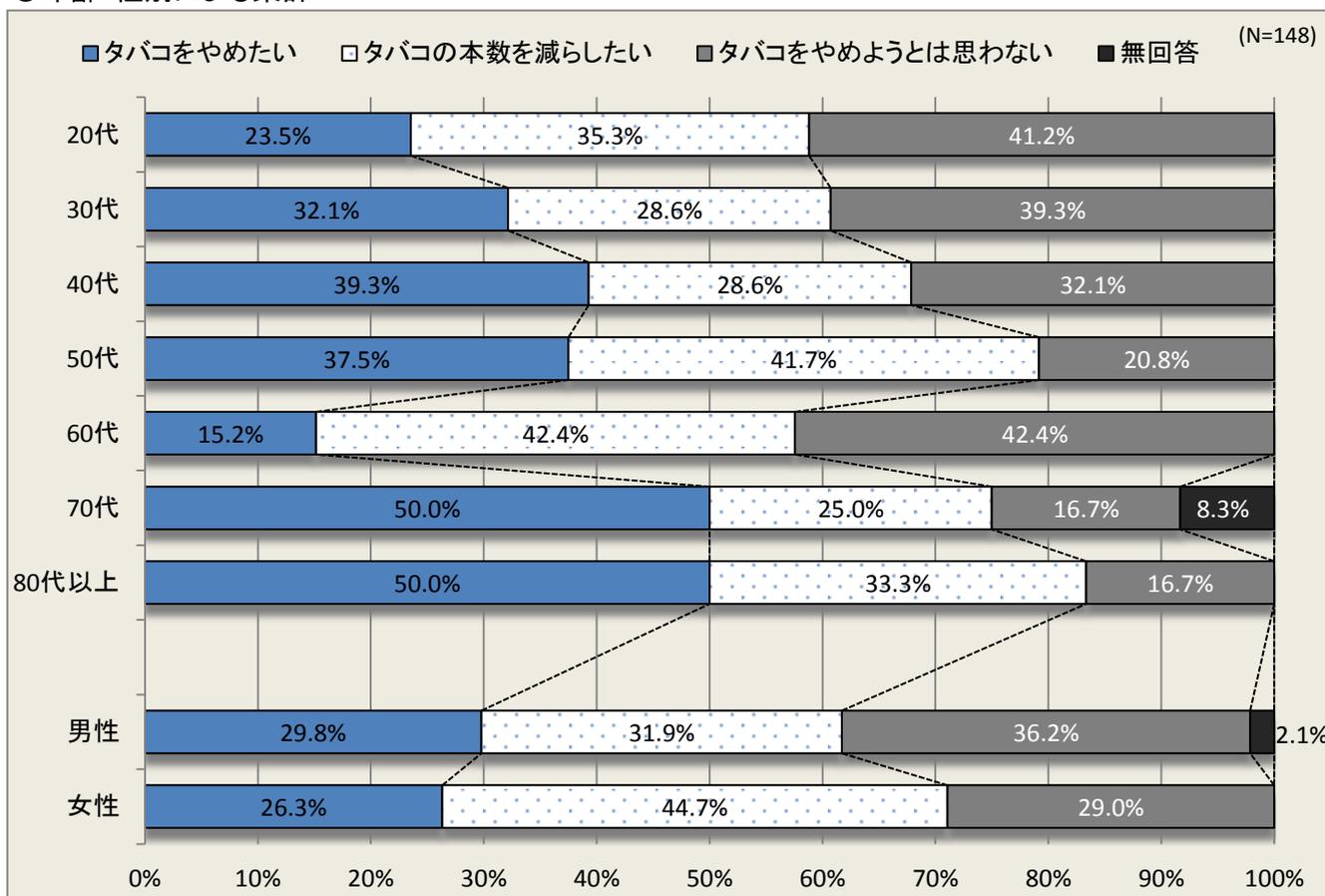
○平成24・27年度比較



※60代を除き、年齢を重ねるごとに「タバコをやめたい」が増えている。逆に「タバコをやめようとは思わない」は、20代、30代、60代は4割おり、その他の年代においても2割前後である。

男女別では、タバコをやめる予定がない(「タバコの本数を減らしたい」と「タバコをやめようとは思わない」の合計)と思っている割合が、男性よりも女性の方が若干高い。

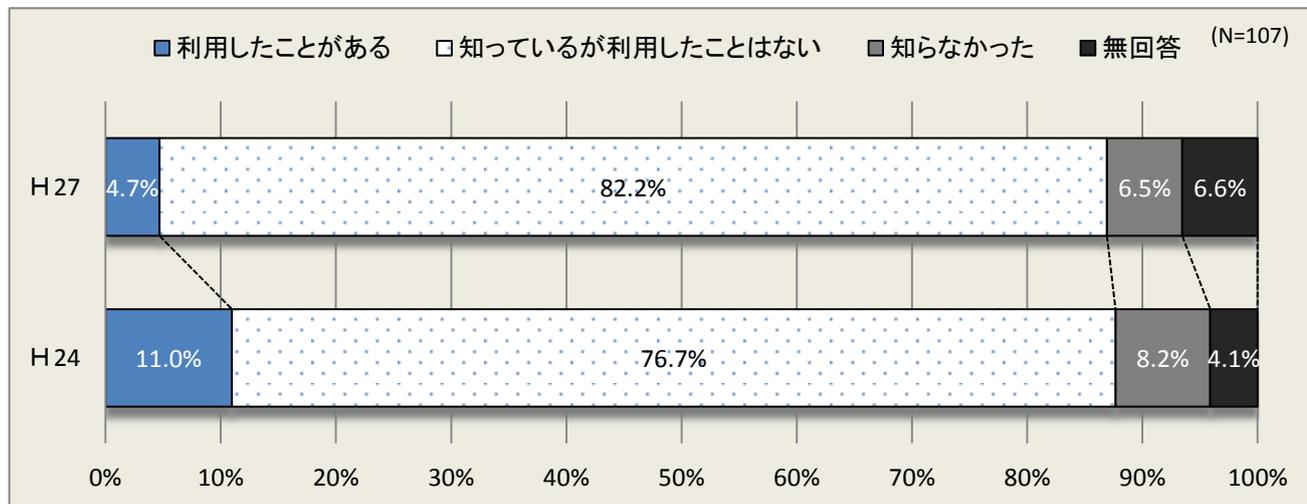
○年齢・性別による集計



(25) (24)で「1. タバコをやめたい」「2. 本数を減らしたい」とお答えになった方にお聞きます。禁煙教室や禁煙外来というものを利用されたことはありますか。

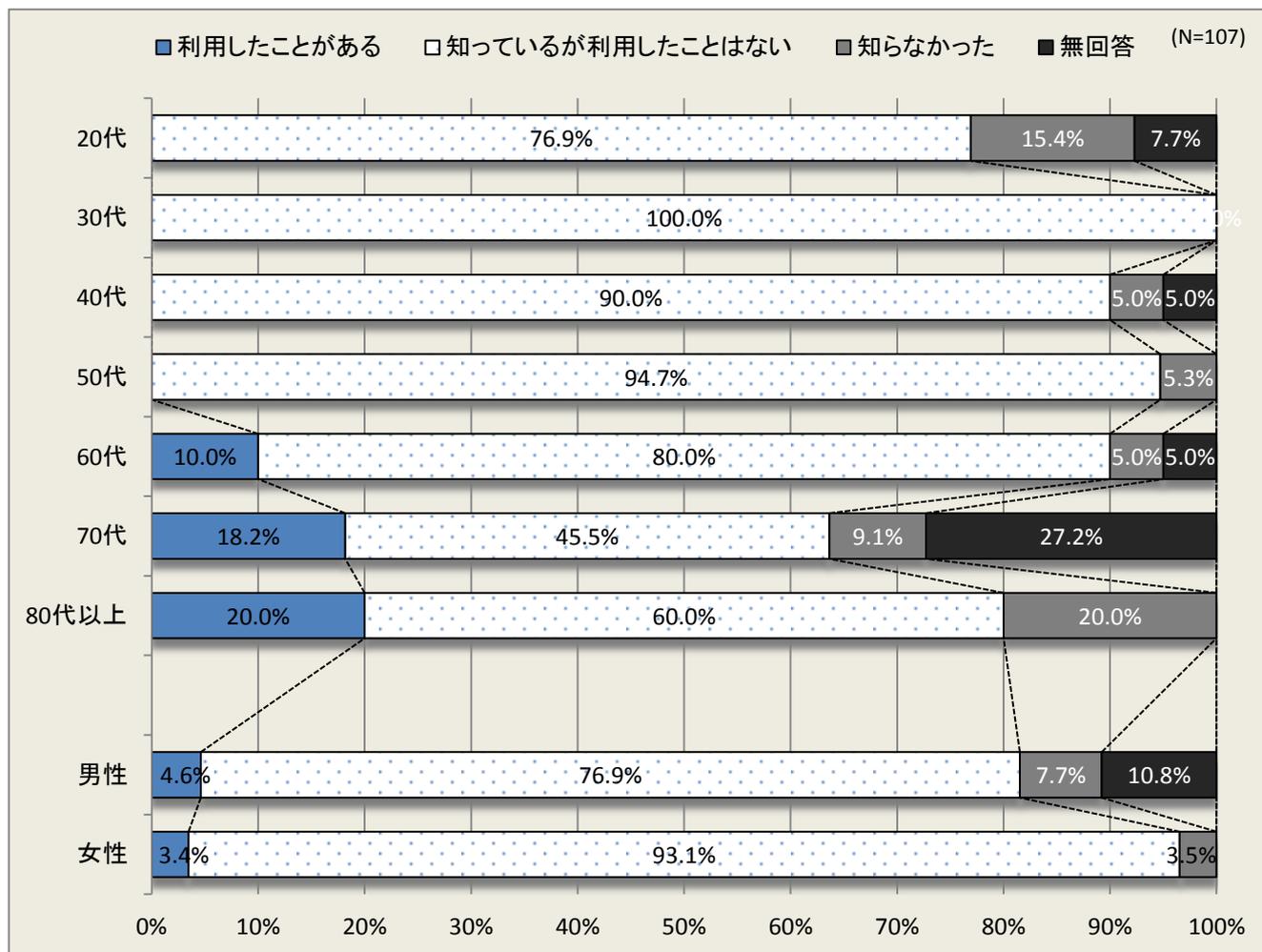
※禁煙教室等を「利用したことがある」(4.7%)が若干の減少。「知っているが利用したことはない」(82.2%)、「知らなかった」(6.5%)をあわせて9割弱の方が利用していない上に、H24調査よりも利用率が減少している。

○平成24・27年度比較



※禁煙教室や禁煙外来を利用したことがあるのは、60代、70代、80代以上の方で、20代から50代まで利用者がいない。

○年齢・性別による集計

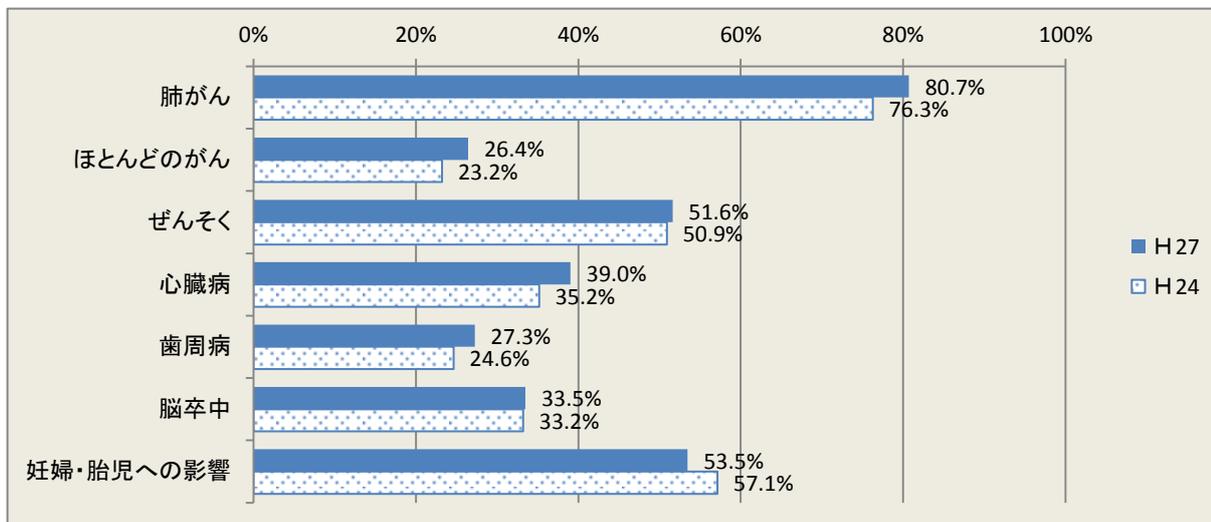


(26) タバコが影響していると思うものに○をつけてください。(複数回答)

※「肺がん」(80.7%)が最も多く、次に「妊婦・胎児への影響」(53.5%)、「ぜんそく」(51.6%)と続くが、「歯周病」(27.3%)や「ほとんどのがん」(26.4%)についてタバコが影響あることを知っている方が少ない。

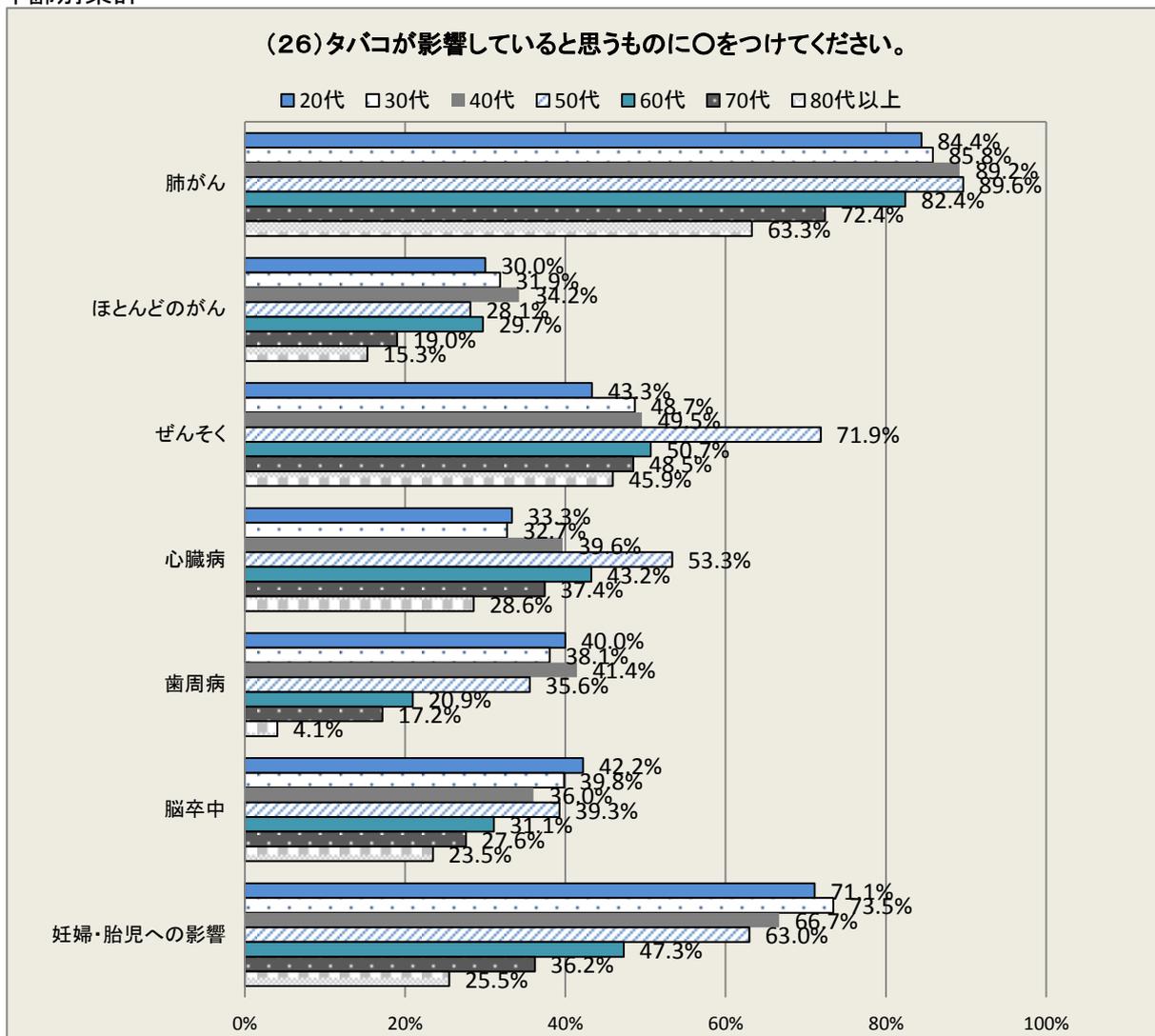
(◎タバコは、質問項目のすべてに影響を与える)

○平成24・27年度比較



※タバコの影響について、肺がんとぜんそく以外の各項目では、70代、80代以上の認識が低い。

○年齢別集計

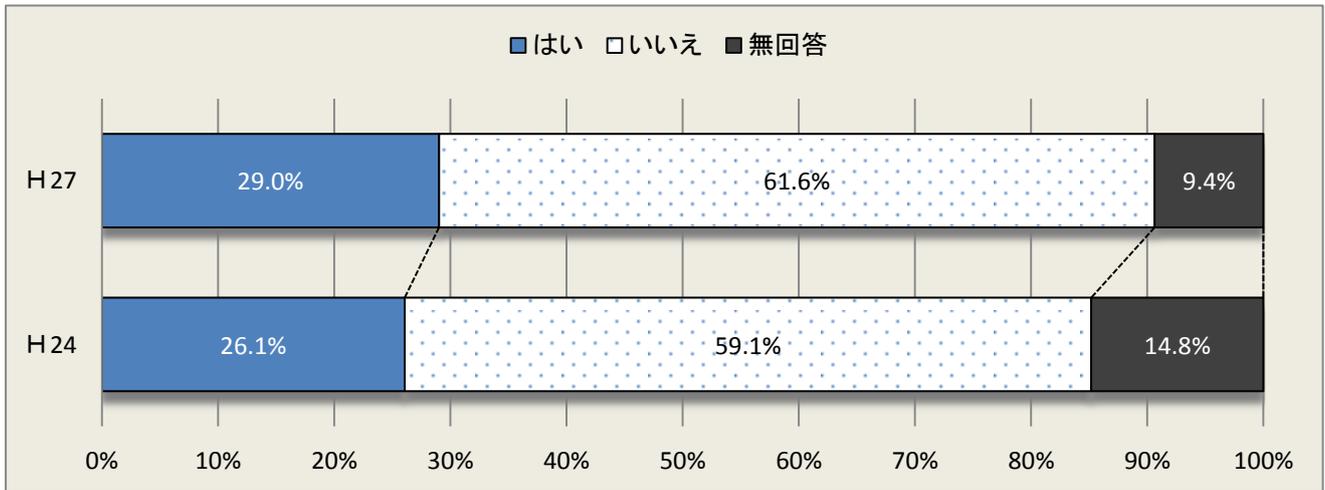


(27) COPDを知っていますか。

COPDとは：たばこの煙などの有害物質を長期に吸入することで起こる、慢性閉塞性肺疾患

※COPDの認知度は「はい」(29.0%)が若干増加している。

○平成24・27年度比較



※80代以上を除く、全ての年齢において3割前後の認知度がある。
男女別では、男性よりも女性の方が1割程度認知度が高い。

○年齢・性別による集計

